

## 施策評価調書(27年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	151
	政策名	芸術文化による創造県おおいとの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	創造性を生かした地域づくりの推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	子どもたちが芸術文化に触れる機会(児童生徒数)(人)	①②③	H26	11,896	12,016	73,214	609.3%	12,500	13,100					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	達成 県立美術館開館に伴い小学生を招待するとともに、NPO法人大分県芸術文化振興会議が実施する文化キャラバン、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団が実施するピノキオコンサート等で芸術家が学校等に直接出向く機会を提供することにより目標値を達成した。	達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・芸術文化ゾーンと周辺商店街が連携した「Tanavata Starlight Express」や「Heart of christmas」のイベントを開催し、回遊性が高まったほか、ゾーン、商店街双方の情報共有、理解が進み、年末年始に美術館で春日神社等市内の神輿を展示する企画も実現した。
②	・小学生ファーストミュージアム体験事業により、県内全ての小学生(60,947人)を美術館へ招待し、子ども達が、芸術文化に触れる機会を創出した。 ・県立美術館において、障がい者アートの展覧会「Action展」を開催し、障がい者の発表の機会を創出した。
③	・混浴温泉世界2015(別府市)や、大分トイレンナーレ、竹田アートカルチャーなどを同時期に開催し、芸術文化の振興と観光・地域振興の一体的な振興が図られた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	芸術文化ゾーン拠点創出事業	90,000	A	継続・見直し	28
②	おおいた文化のひろば創造事業	21,889	A	継続・見直し	203
③	創造県おおいた推進事業	51,957	A	継続・見直し	29

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県新長期総合計画策定県民会議(H27.5)</p> <p>・新しい大分県や大分の産業を芸術文化を含めて考えていくことが必要。横串を刺し、従来型の文化芸術振興にならないことが大事。</p> <p>○大分県文化振興県民会議(H27.12)</p> <p>・若者に対する施策はもちろんのこと、高齢者や障がい者への対応も推進していく必要がある。</p>	<p>○大分県文化振興県民会議(H28.3)</p> <p>・大分県の強みを打ち出し、他の地域との違いがわかるようにすることが必要。創造県おおいたを推進するためには、各市町村の取組も重要。</p>
--	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンとして、関係団体や県下各地で展開されている様々な芸術文化活動等との連携を進め、ネットワークの構築を図る。また、芸術文化の持つ創造性を活用して、教育、産業、福祉・医療分野における政策課題への対応を進める。</p> <p>・「創造県おおいた」を目指し、核となる人材を育成するとともに、県内各地のアート拠点や団体等と連携し、市街地を舞台としたアートイベントの開催など、芸術文化の創造性を生かした地域づくりを推進する。</p>